日本のリーダーへ

茂木敏充国会通信

2021年 夏号

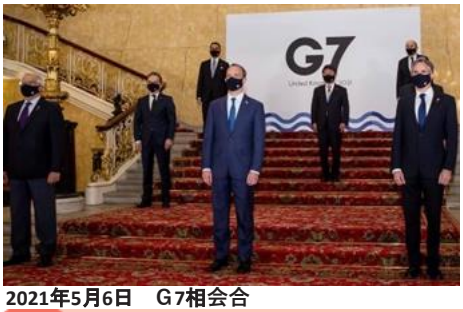
■国会事務所／千代田区永田町2-1-2　第2議員会館1011号室　TEL 03(3508)1011
■足利事務所／足利市伊勢町4丁目14-6　TEL 0284(43)3050
■佐野事務所／佐野市堀米町608-8　オフィス堀米2階　TEL 0283(21)5350
■栃木事務所／栃木市大町22-7　MTビル1階　TEL 0282(24)4776
■ホームページ：http://www.motegi.gr.jp
■E-mail：toshimitsu@motegi.gr.jp
■発行所：自由民主党栃木県第5選挙区支部

2021年5月25日　英国トラス国際貿易大臣とのテレビ会談

外務大臣・衆議院議員 茂木敏充

2019年9月に外務大臣に就任してから2年が経ちます。この間、世界45ヵ国（最後に各訪問国を表示）を歴訪しました。直近でも、5月にはG7外相会合でロンドンに、また先月はG20外相会合でイタリアに行ってきました。この機会 に中東欧諸国やバルト三国も訪問し、各国首脳・外相等と30回の会談も行いました。新型コロナ対応や国際情勢等について対面でじっくり話し合い、非常に良い成果が出せたと思います。

最近、国際社会で日本の存在感が非常に高まっていると感じます。G7、G20のような国際会議に参加しても、日本の外務大臣はかつての新参者ではありません。今後も更に存在感を高める日本外交を進めていきます。



2021年5月6日　G7相会合

2021年6月30日　G20外相会合

1 新型コロナへの対応

新型コロナ対応で、外務省としては、まず、海外にいる邦人の帰国支援が大きな仕事でした。昨年1月末の中国・武漢からチャーター機を使った邦人帰国オペレーションに始まり、これまでに101ヵ国、1万2千人を超える邦人の帰国を支援してきました。

そして何と言っても今、コロナの世界的拡大を抑える決め手となるのがワクチンです。世界各国へのワクチンの公平な供給には、①ワクチンの生産、②国際的な調達・分配、③各国での接種、この3つのフェーズでの支援が必要で、日本は、特に②調達・分配と③接種の面で、国際貢献 を進めてきています。

特に日本は、ワクチンを各国に供給するため の国際的取組をリードしています。6月2日には 日本がワクチン・サミットを主催し、各国首脳や 国際機関の代表が参加する中、私が司会進行 役を務めました。このサミットでは、各国から追 加の資金拠出が相次ぎ、年内に18億回分（途上 国人口の3割相当）のワクチンを確保するため の資金目標を大きく超える額を確保しました。

2021年6月2日　日本が主催したＣＯＶＡＸワクチンサミット(画面はテドロス事務局長)

2 ワクチン支援への感謝と評価

ワクチンの現物供与の動きも加速しており、日本も国内接種の余剰分3,000万回分を今後、海外に現物提供する方針です。その第1弾として、台湾に124万回分、ベトナムに100万回分のワクチンを送り、大きな感謝の声が寄せられています。今後は、東南アジア等の国々を中心に、途上国へのワクチン供与も進めていきます。さらに、日本は、各国でワクチンを接種現場まで届けるため、ワクチンの保冷設備や運搬用車両の提供なども行っており、これまでに100億 円の支援を進めてきました。
こうした日本の取組は各国から高く評価されています。国産のワクチンがまだ開発されていない中でも、日本として相当工夫しながら、高い存在感を示す国際貢献を進めています。

3 日米同盟と「自由で開かれたインド太平洋」

本年1月のバイデン政権発足後、ブリンケン 国務長官とオースティン国防長官が初の外国 訪問先として選んだのが日本でした。同盟国との結束によって、より強い立場で中国に対峙するというバイデン政権の特徴がよく現れていま す。そして、その同盟関係の中でも最重要なのが、日米同盟だということです。

日本が提唱した「自由で開かれたインド太平洋」は、広大なインド太平洋地域で、法の支配に基づく国際秩序、活発な経済活動を促進し、地域の平和と繁栄をもたらそうという構想で、国際連携の輪は着実に広がっています。

中でも、日本、米国、豪州、インド4ヵ国による「QUAD」は、その中核を成すものです。2019年、私が外務大臣に就任した直後に初めて の4ヵ国外相会合が実現し、そこから年1回のペースで外相会談を重ね、本年3月には初の「QUAD」首脳会談の実現と、着実にステップ・ アップしています。また、その協力分野も、海洋安全保障やインフラ整備から気候変動への対応、ワクチン協力と大きく広がっています。

2021年3月16日　日米安全保障協議委員会(「2＋2」)

2021年3月16日　日米外相会談

2020年10月6日　日米豪印外相会合

2021年3月13日　日米豪印首脳会議(オンライン形式)

4 対中外交の進め方

中国との関係は、競争、協力、対立（対峙）という様々な側面があります。この中で、対峙すべ き分野としては、東シナ・南シナ海における一方 的な現状変更の試み、香港情勢、新疆ウイグル自治区での人権状況などが挙げられます。

日米首脳・外相間やG7でも、中国に対しては 自らの経済規模にふさわしい責任を果たすよう 求めていくこと、国際秩序に合致しない行動に 強く反対することで一致しています。

もちろん、中国との適正なビジネスも考えな ければなりませんし、観光、環境・省エネなど、協力を進められる分野もあります。しかし、人権の尊重、法の支配等、基本的価値については絶対に譲るべきではありません。近隣国であっても譲らないものは譲らない。日本のこのような明確な姿勢は、各国から高く評価されています。

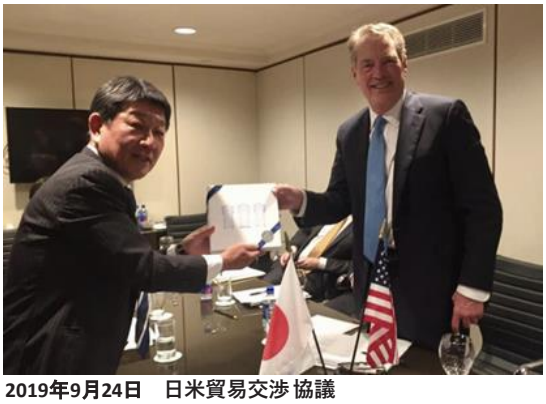
5 経済外交でのリーダーシップ

世界で保護主義や内向き志向が強まる中、 日本は、TPP11以降、日EU・EPA、日米貿易協定、 日英EPA、RCEPなど、自由貿易の旗振り役としてリーダーシップを発揮してきました。この分 野ではTPPのとりまとめやライトハイザー通商代表との厳しい交渉を経た日米貿易協定の合 意など、私の名前も結構有名になり、日本への 期待は非常に大きいと感じています。引き続き、日本が推進してきた自由で公正な経済圏の 拡大に取り組みます。

2018年3月10日　TPP11協定署名式

2019年8月26日　日米首脳会談同席

2020年8月8日　日英包括的経済連携協定交渉



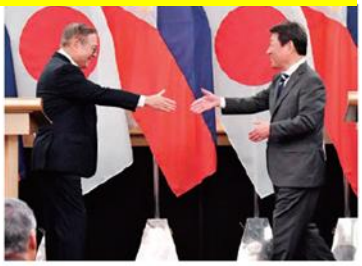
2019年9月24日　日米貿易交渉 協議

2020年10月23日　日英包括的経済連携協定に署名

外務大臣として様々な海外要人と会談

2020年1月6日　茂木外務大臣夫妻による
ベトナム・ホーチミン廟・英雄烈士慰霊碑献花

2020年1月7日　日タイ外相会談



2020年1月9日　日フィリピン外相会談

2020年2月15日　日イラン外相会談

2020年2月15日
ミュンヘン安全保障会議

2020年8月22日　フン・セン・カンボジア首相表敬

2020年8月24日　日ミャンマー外相会談
(写真右が当時のスーチー国家最高顧問兼外相)

2020年9月9日
日ASEAN外相テレビ会議
(テレビ会議、電話会談はのべ156回)

2020年10月6日　日米豪印外相会合

2020年9月9日　EAS参加国外相会議

2020年9月30日　日ポルトガル外相会談

2020年10月3日
日クウェート外相会談

2020年10月7日　日インド外相会談

2020年10月23日
英国トラス国際貿易大臣と
日英EPA署名式

2020年12月12日　日・南アフリカ外相会談

2021年3月16日　日米外務・防衛「2+2」閣僚会合

2021年7月1日　日エストニア首相表敬

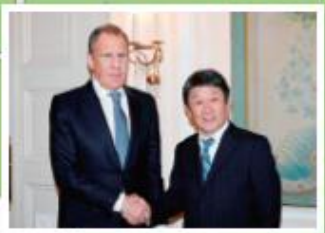
2021年7月17日　日グアテマラ外相会談

外務大臣 茂木敏充（かけ） 世界を翔る

海外出張で訪問した国々〈45ヵ国※〉

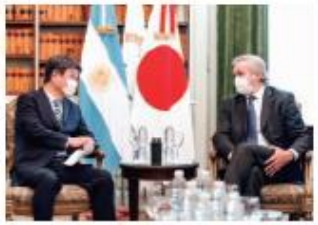
※8月訪問予定の中東8ヵ国・地域は含まず

2020.8.5
日英外相会談



2020.2.5
ロシア
ラブロフ外相

2021.3.16 日米外相会談



2021.1.7 日アルゼンチン外相会談

2020.1.9
ドゥテルテ・
フィリピン大統領

2021.1.13
ウフル・ケニヤッタ
ケニア大統領

2019.11.30
日印外相会談

2020.1.10
日インドネシア外相会談

2021.1.8
ボルソナーロ
ブラジル大統領

⑤ロシア
㉓モンゴル
⑥中国
⑦ベトナム
⑧タイ
⑨フィリピン
⑩インドネシア
⑪ドイツ
⑫イギリス
⑬シンガポール
⑭マレーシア
⑮パプアニューギニア
⑯カンボジア
⑰ラオス
⑱ミャンマー
①アメリカ
②インド
③スリランカ
④スペイン
⑳フランス
㉑サウジアラビア
㉒クウェート
㉔チュニジア
㉕モザンビーク
㉖南アフリカ
㉗モーリシャス
㉘メキシコ
㉙ウルグアイ
㉚アルゼンチン
㉛パラグアイ
㉜ブラジル
㉝セネガル
㉞ケニア
㉟スロベニア
㊱ボスニア・フェルツェゴビナ
㊲ポーランド
㊳イタリア
㊴エストニア
㊵ラトビア
㊶リトアニア
㊷キューバ
㊸ジャマイカ
㊹パナマ
㊺グアテマラ
㊻エジプト
㊼イスラエル
㊽パレスチナ
㊾ヨルダン
㊿トルコ
(51)イラク
(52)イラン
(53)カタール

2019年

- 9/22~28 NY国連総会（①アメリカ:NY）
- 11/29~12/1 日印2+2（②インド）
- 12/13 日スリランカ外相会談（③スリランカ）
- 12/13~17 ASEM外相会合（④スペイン）
- 12/17~21 日露平和条約交渉（⑤ロシア）
- 12/23~25 日中韓サミット（⑥中国）

2020年

- 1/ 5~11 東南アジア訪問(1)（⑦ベトナム⑧タイ⑨フィリピン⑩インドネシア）
- 1/13~16 日米韓外相会談（①アメリカ:サンフランシスコ）
- 2/14~16 ミュンヘン安全保障会議（⑪ドイツ）
- 8/ 5~ 8 日英外相会談、日英EPA交渉（⑫イギリス）
- 8/12~15 東南アジア訪問(2)（⑬シンガポール⑭マレーシア）
- 8/20~25 太平洋島嶼国、東南アジア訪問(3)（⑮パプアニューギニア⑯カンボジア⑰ラオス⑱ミャンマー）
- 9/29~10/5 欧州、中東訪問(1)（⑲ポルトガル⑳フランス㉑サウジアラビア㉒クウェート）
- 10/ 9~10 日モンゴル外相会談（㉓モンゴル）
- 12/ 8~14 アフリカ訪問(1)（㉔チュニジア㉕モザンビーク㉖南アフリカ㉗モーリシャス）

2021年

- 1/ 4~14 中南米、アフリカ訪問(2)（㉘メキシコ㉙ウルグアイ㉚アルゼンチン㉛パラグアイ㉜ブラジル㉝セネガル㉞ケニア）
- 4/29~5/ 8 G7外務・開発大臣会合、中東欧訪問（㉟スロベニア㊱ボスニア・フェルツェゴビナ⑫イギリス㊲ポーランド）
- 6/28~7/ 4 G20外務・開発大臣会合、バルト3国訪問（㊳イタリア㊴エストニア㊵ラトビア㊶リトアニア）
- 7月下旬 中米訪問（㊷キューバ㊸ジャマイカ㊹パナマ㊺グアテマラ）
- 8月下旬 中東訪問(2)予定（㊻エジプト㊼イスラエル㊽パレスチナ㊾ヨルダン㊿トルコ(51)イラク(52)イラン(53)カタール）